



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社ピーエイ

上場取引所 東

コード番号 4766 URL <http://www.pa-co-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤博敏

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 呉 青

TEL 03-5803-6318

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	1,815	6.7	54		27	69.6	28	
28年12月期第3四半期	1,701	11.8	55	18.4	89	6.0	31	55.6

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 30百万円 (%) 28年12月期第3四半期 21百万円 (65.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	2.66	
28年12月期第3四半期	2.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	2,009	981	48.9	91.29
28年12月期	2,003	1,054	52.1	97.00

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 981百万円 28年12月期 1,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		3.00	3.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	10.3	50	51.6	80	12.9	35	29.2	3.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	11,229,800 株	28年12月期	11,229,800 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	476,916 株	28年12月期	476,916 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	10,752,884 株	28年12月期3Q	10,752,884 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、企業の生産活動や設備投資及び雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかに回復基調で推移しました。海外におきましては、中東・北朝鮮の地政学的リスクが高まり、経済全般としては、先行きは予断を許さない状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループにおいては「地域活性化」の課題へ取り組むべく、人材事業・保育事業の拡大と海外事業・ヘルスケア事業の開拓を行ってまいりました。

また、新たな取組みとして、平成29年7月にベトナムにおける奈良テレビ放送株式会社(以下、奈良テレビ放送)とベトナムテレビジョン (Vietnam Television (以下、VTV)) との共同事業にかかるコンサルティング契約を奈良テレビ放送と締結を致しました。

情報サービス事業

情報サービス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,414百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。情報サービス事業は、東日本エリアの東北地域、関東地域、信越地域、北陸地域において無料求人情報誌「ジョブポスト」、およびウェブ版の「ジョブポストWEB」、新聞折込求人紙とフリーペーパーの「おしごとハロー」「おしはろ」を編集発行しております。無料求人情報誌「ジョブポスト」が競争激化による受注単価の低下傾向が見られる中、商品力の強化、顧客サービスの徹底に取り組んでまいりました。

また、第3四半期以降は、一段の広告効果向上のために、「ジョブポスト」設置場所の拡大・見直しといった施策に取り組んで参りました。

新聞折込求人紙とフリーペーパーの「おしごとハロー」「おしはろ」は、千葉県内及び茨城県内で人員等の増員により営業力の強化を図り、地域競争力を強化することにより求人広告収入が増加いたしました。

人材派遣事業

人材派遣事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は244百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

主力サービスである「派遣」の新規顧客数の拡大に注力したことに加えて、「紹介予定派遣」、「請負」を指向する顧客企業の要望に応えたことにより売上高が増加しました。

保育事業

保育事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は155百万円（前年同四半期比191.6%増）となりました。

保育業界を取り巻く状況は、共働きの子育て世帯が増加する中、政府・自治体から保育士の待遇改善や保育所整備の補助金積み増しなど待機児童解消に向けた様々な施策が導入されております。

このような中、平成29年4月に川崎市認可保育所「ココカラ高津」及び宇都宮市認可小規模保育事業所「ココカラ上桑島」の開所に伴い、補助金として営業外収益68百万円を計上しました。

その他事業

その他事業の賃貸保証事業については、賃貸借契約に必要な「連帯保証人」を、外国人留学生に代わり第三者機関である㈱PA Rent Guaranteeがお引き受けするシステムとなっております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高1,815百万円（前年同四半期比6.7%増）、㈱ピーエイケアが平成29年4月に2施設開所（川崎市、宇都宮市）のための先行投資により販売費及び一般管理費が増加し、営業損失54百万円（前年同四半期営業利益55百万円）、営業外収益で補助金68百万計上により経常利益27百万円（前年同四半期比69.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純利益31百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,009百万円となり、前連結会計年度末と比較して5百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券67百万円の減少の反面、建物94百万円及び受取手形及び売掛金31百万円の増加等によるものであります。

負債合計は1,027百万円となり、前連結会計年度末と比較して78百万円の増加となりました。これは主に、社債30百万円の減少の反面、資産除去債務35百万円の増加並びに繰延税金負債29百万円の増加等によるものであります。

純資産合計は981百万円となり、前連結会計年度末と比較して72百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円の計上による減少及び配当金の支払32百万円による減少等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、東日本エリアの東北地域、関東地域、信越地域、北陸地域において無料求人情報誌「ジョブポスト」、およびweb版の「ジョブポストweb」、新聞折込求人紙とフリーペーパーの「おしごとハロー」「おしはろ」を編集発行しております。無料求人情報誌「ジョブポスト」が競合他社との激しい競争により苦戦を強いられましたが、第4四半期連結会計期間においては、営業力及びサービスの充実・多様化を図り、競争力強化をし、収益基盤の拡大を図って参ります。

平成29年8月10日に開示いたしましたとおり、当第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしましたが、現時点では通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境の変化により、業績予想の修正の必要性が生じた場合、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,296,999	1,239,806
受取手形及び売掛金	188,703	219,957
原材料及び貯蔵品	313	370
繰延税金資産	25,832	18,330
その他	27,896	45,516
貸倒引当金	△3,621	△3,766
流動資産合計	1,536,123	1,520,215
固定資産		
有形固定資産	140,959	213,065
無形固定資産		
のれん	39,627	30,478
その他	105,561	89,865
無形固定資産合計	145,189	120,344
投資その他の資産	179,373	153,747
固定資産合計	465,522	487,157
繰延資産		
社債発行費	1,991	1,731
繰延資産合計	1,991	1,731
資産合計	2,003,636	2,009,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,173	108,318
短期借入金	472,000	472,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	4,824	1,902
未払法人税等	10,707	10,832
賞与引当金	-	10,842
その他	140,973	180,176
流動負債合計	770,678	814,073
固定負債		
社債	140,000	110,000
長期借入金	5,992	5,296
繰延税金負債	14,910	44,835
資産除去債務	17,457	53,234
固定負債合計	178,360	213,366
負債合計	949,039	1,027,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	514,068	514,068
資本剰余金	496,760	464,403
利益剰余金	94,118	65,499
自己株式	△71,335	△71,335
株主資本合計	1,033,611	972,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	△16
為替換算調整勘定	9,172	9,031
その他の包括利益累計額合計	9,412	9,015
非支配株主持分	11,573	14
純資産合計	1,054,597	981,664
負債純資産合計	2,003,636	2,009,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,701,173	1,815,054
売上原価	768,795	1,007,904
売上総利益	932,377	807,150
販売費及び一般管理費	877,160	862,005
営業利益又は営業損失(△)	55,217	△54,855
営業外収益		
受取利息	430	201
受取配当金	710	143
投資有価証券売却益	1,046	7,786
受取手数料	4,540	2,999
助成金収入	32,869	68,347
その他	2,809	7,259
営業外収益合計	42,405	86,738
営業外費用		
支払利息	2,674	2,410
為替差損	957	728
支払手数料	1,096	806
持分法による投資損失	2,645	100
その他	504	574
営業外費用合計	7,879	4,619
経常利益	89,743	27,263
特別利益		
関係会社株式売却益	-	122
特別利益合計	-	122
特別損失		
固定資産除却損	189	413
投資有価証券評価損	-	500
特別損失合計	189	913
税金等調整前四半期純利益	89,554	26,471
法人税、住民税及び事業税	18,823	18,101
法人税等調整額	38,549	37,597
法人税等合計	57,373	55,699
四半期純利益又は四半期純損失(△)	32,180	△29,228
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	955	△608
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	31,225	△28,619

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	32,180	△29,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,919	△255
為替換算調整勘定	△3,622	△1,375
その他の包括利益合計	△10,541	△1,631
四半期包括利益	21,639	△30,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,802	△29,017
非支配株主に係る四半期包括利益	1,836	△1,842

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービ ス事業	人材派遣 事業	保育事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,453,629	194,066	53,477	1,701,173	—	1,701,173	—	1,701,173
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,160	3,049	—	5,210	—	5,210	△5,210	—
計	1,455,790	197,116	53,477	1,706,383	—	1,706,383	△5,210	1,701,173
セグメント利益又は 損失(△)	251,164	7,507	△13,008	245,663	—	245,663	△190,446	55,217

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△190,446千円には、セグメント間取引消去2,467千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△192,914千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、株式会社ピーエイケアの株式を取得したことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、29,273千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報サービス事業	人材派遣事業	保育事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,414,277	244,848	155,928	1,815,054	—	1,815,054	—	1,815,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	938	234	—	1,172	—	1,172	△1,172	—
計	1,415,216	245,082	155,928	1,816,227	—	1,816,227	△1,172	1,815,054
セグメント利益又は損失(△)	154,276	26,343	△54,077	126,542	△191	126,351	△181,206	△54,855

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保証事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△181,206千円には、セグメント間取引消去234千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180,972千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事業はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、前期まで「人材派遣事業」に区分しておりました連結子会社株式会社FIのセグメント区分を「情報サービス事業」に変更しております。

前期までは、人材派遣業務を主な業務としていたため、「人材派遣事業」に区分しておりましたが、当期より求人広告代理店業務を主な業務としているため、「情報サービス事業」に区分しております。

また、前第2四半期連結会計期間より、株式会社ピーエイケアの株式取得による連結子会社化に伴い、保育関連事業として「その他」に区分して記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、「保育事業」に区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。